

8.3 津波計算の主な設定条件

津波計算の主な設定条件を表 8-1 に示した。

表 8-1 津波計算の主な設定条件

項目	計算条件
断層モデル	房総半島東方沖日本海溝沿い地震モデル（今回想定）
計算メッシュサイズ	2430m→810m→270m→90m→30m→10m のネスティング
計算時間間隔	計算安定条件を満たすように各範囲で設定
再現計算時間	12 時間
堤防条件	堤防あり／堤防なし（図 8-3 参照）
初期潮位条件	朔望平均満潮位（図 8-4 参照）

堤防条件については以下のとおりである。使用した堤防データを図 8-3 に示した。

【堤防あり】

- ・河川堤防、防潮堤は全て機能することを想定（ただし、津波が越流したら破壊する）。
- ・水門等は閉鎖していることを想定（ただし、津波が越流したら破壊する）。
- ・地震による地盤沈下を考慮した。

【堤防なし】

- ・防潮堤や水門等（利根川河口堰を除く）が全て機能しないことを想定（津波計算開始とともに取り払う）。
- ・河川堤防のみは機能することを想定（ただし、津波が越流したら破壊する）。

なお、房総半島東方沖日本海溝沿い地震は、地震動の弱い津波地震であることから「堤防あり」の条件で検討を進めた。

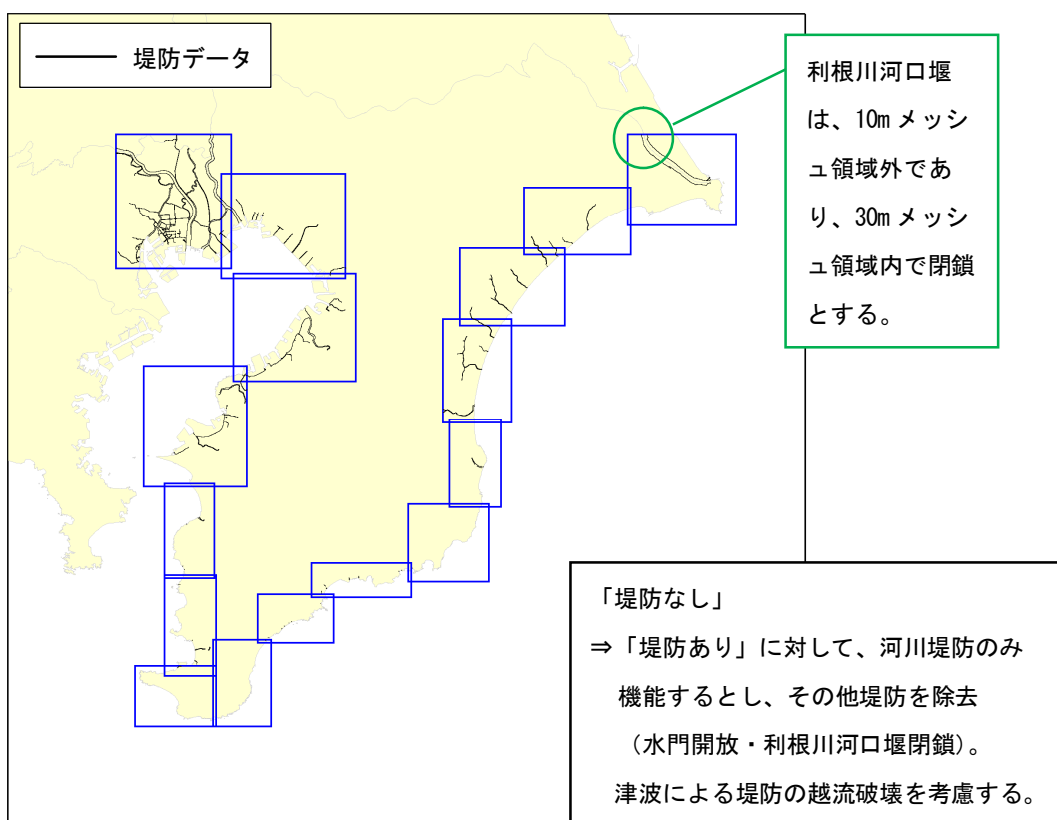
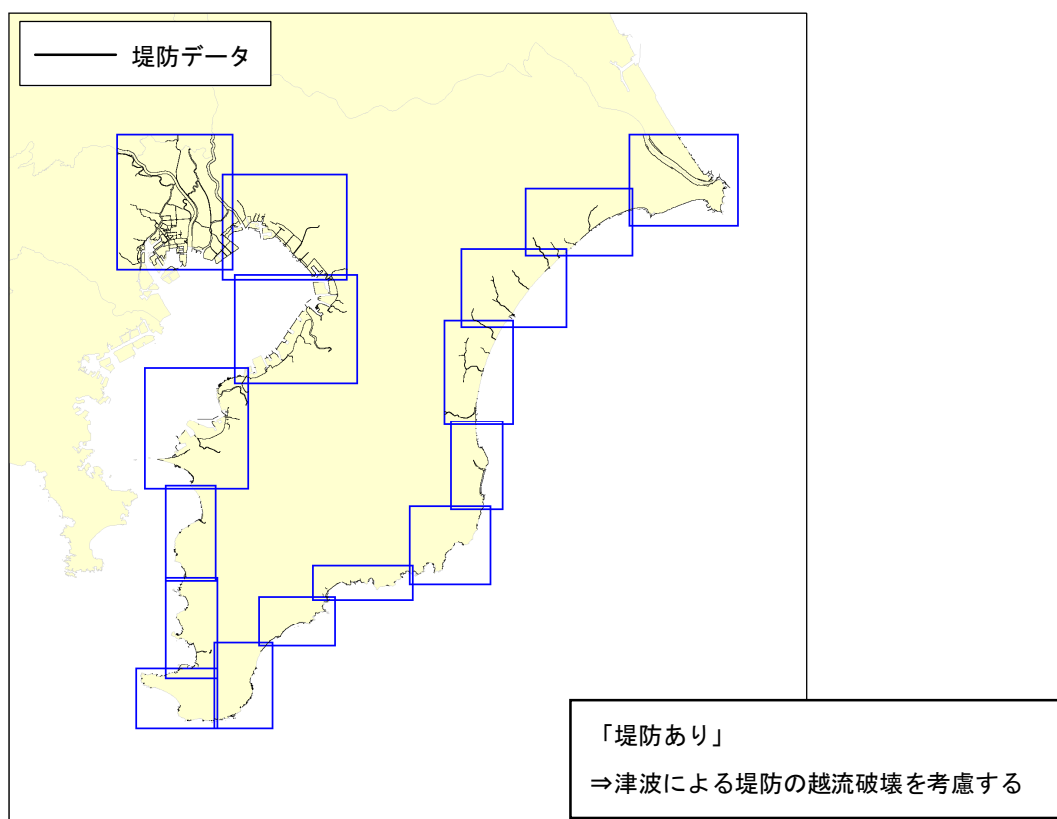


図 8-3 津波計算に使用した堤防データ

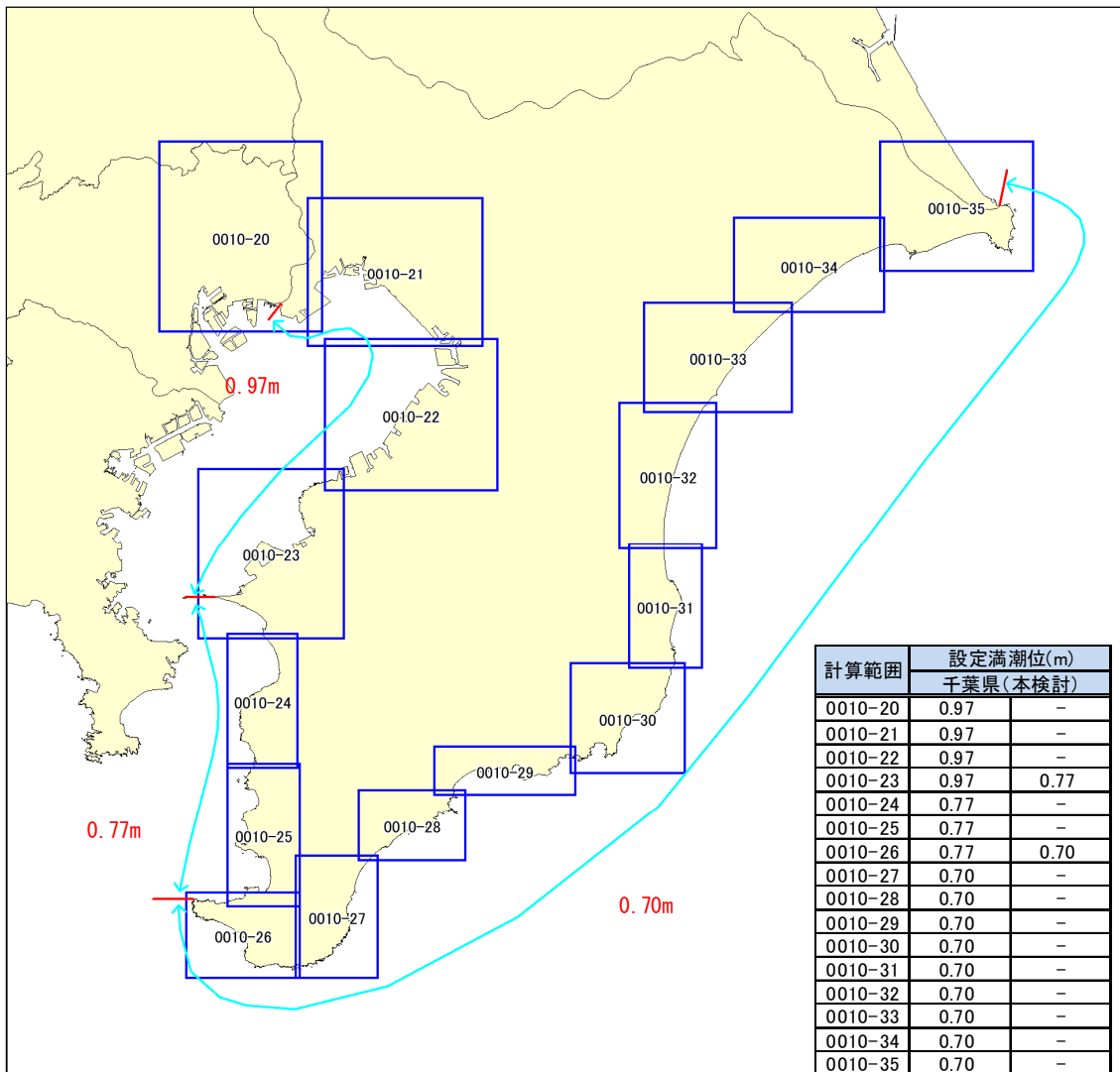


図 8-4 設定満潮位